

天神島に教育園南口を新設 (天神島臨海自然教育園)



今春、教育園ビジターセンター側に新たな出入口（南口）が完成し、島を一周できるようになりました。伊豆大島から丹沢山塊までを見渡せる美しい景観や豊かな海岸生物の観賞、観察がいっそうやすくなりました。天然記念物に指定されたハマオモトの自生地までは南口から20メートルほどとご覧いただきやすくなり、付近ではハマボウやヒトモトススキなども見られます。

ハンゲショウ (馬堀自然教育園)



ハンゲショウ

園内には三つの池とそれをつなぐ小川があり、そこにはメダカや淡水エビ類など多くの希少な水生生物が暮らしています。ハンゲショウもそのひとつです。ハンゲショウは6月中ごろから、小さな花を茎の先に穂状につけ、尻尾のように垂れ下がります。花が盛りを迎える7月初めの季節を半夏生というのでハンゲショウの名があります。花にははなびらがなく目立ちませんが、花の周囲の葉だけが花期には緑から白に変わり、花の存在を昆虫に教えています。葉の一部が白くなるためカタシログサ（片白草）とも呼ばれます。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.8 No.1

(2015年春号)

2015年3月25日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



アラゲキクラゲ (4月)



マルバウツギ (5月)



ナナフシモドキの幼虫 (4月)



ハウチャクソウ (4月)



オバボタル (6月)



ヤマザクラ (4月)



カワニナ (5月)



カワラタケ (6月)



アカスジキンカメムシ (5月)



アケビの花 (3月)



サトキマダラヒカゲ (6月)

天神島のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



ハマエンドウ (5月)



ヒジキ (4月)



上下が逆転した地層 (通年)



クロスズメバチ (6月)



テリハノイバラ (6月)



スネトゲテップウエビ (5月)



モリチャバネゴキブリ (6月)



アカスジカメムシ (6月)



ハマボッサ (6月)



カゴメノリ (4月)

自然教育園の行事案内

◎今年度の行事についての詳細は、「広報よすか」、博物館ホームページ、リーフレット等をご覧ください

海藻入門

約180種の海藻が生育する天神島で、生育または打ち上げられた海藻の観察し、海藻押し葉標本作りの体験学習を行います。赤や緑、褐色などカラフルな海藻と海に親しむ機会としてください。4月19日(日)10:00～15:00に開催します。

事前申込制、4月4日(土)締切り、定員20名。

天神島ガイドツアー

天神島臨海自然教育園では毎月第4日曜日に、園内の自然をご案内する天神島ガイドツアーを開催しています。さまざまな生き物や地形、季節によって移り変わる景色など、天然記念物に指定された天神島の豊かな自然を観察します。

申し込み不要、どなたでも気軽にご参加いただけます。



天神島ガイドツアー

ウミウシの観察

鮮やかな体色と、さまざまな姿・形から「海の宝石」といわれる貝のなかまウミウシ類を中心に、初夏の天神島でくらす磯の生き物たちを観察します。



アオウミウシ

6月20日(土)9:30～12:00に開催します。

事前申込制、6月6日(土)締切り、定員30名。

ホタルの観察1・2

馬堀自然教育園が整備・保全している水辺環境を、ゲンジボタルやヘイケボタルの観察を通じて体験します。1:6月20日(土)、2:6月27日(土)、それぞれ18:00～20:00に開催します。

事前申込制、いずれも6月6日(土)締切り、定員50名。



ヘイケボタル

自然教育園のできごと

トウキョウサンショウウオの飼育展示開始

馬堀自然教育園では毎年、園内の水辺に産卵されたトウキョウサンショウウオの卵の一部を学習棟の水槽に保護し、飼育展示を行っています。今年も3月4日と5日に、そのままでは生存できないような、水質が悪い場所や水量の少ない場所などに産みつけられた卵のうを、学習棟の水槽に保護・収容しました。卵は3月末～4月初旬にかけてふ化し、ふ化した幼生は陸上生活をするようになる夏までの間、水槽内でご覧いただけます。



トウキョウサンショウウオの幼生

春の磯で見つかる黄色い指輪

春の天神島では、磯の岩をよく見ると、黄色く指輪くらいの大きさの輪になったものがたくさんついています。これは巻き貝のなかまのカラマツガイの卵



産卵中のカラマツガイ(左)と産みつけられた卵塊(右)

で、虫めがねで見ると中に黄色の卵の粒があることがわかります。ヒジキの茂みの中には、「海そうめん」と呼ばれるアメフラシのなかまの卵も見られるようになってきました。

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>